

令和5年9月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	議席 番号	氏名	要 旨	答弁者
17	11	佐野和彦 議員		1/2
発言項目		要 旨		答弁者
1 気候変動に順応する 市政を考える		<p>気象庁は9月1日に夏の天候をまとめ、発表した。全国的に例年の平均気温を大きく上回り、1898年に統計を開始してから日本の平均気温偏差は夏として過去最高をマークした。我が富士宮市でも連続高温日数が更新された。コロナ禍で延期や縮小された様々なイベントも、コロナ禍以前の水準に戻しつつ現在に至っている。しかしながら、今もなお続く暑さに対応した市政運営をしていかないといけないと思い、以下伺う。</p> <p>(1) いわゆるクーリングシェルターは機能していたか。また、来年に向けどのような暑さ対策を考えているのか。</p> <p>(2) 真夏に行われるスポーツ大会やイベントについて、どのような考えがあるのか。</p> <p>(3) 山宮ふじざくら球技場の人工芝の取扱いについて。</p> <p>① スプリンクラーを動かすタイミングについて。</p> <p>② 猛暑での人工芝の温度はスポーツを行うのに適しているか。</p> <p>(4) 各区の集会場や区民館のエアコン設置についての要望は、どのような状況になったのか。</p> <p>(5) 熱中症になった場合の対処方法を伺う。</p> <p>① 応急処置方法は。</p> <p>② 救急要請が必要などきの症状とは。</p> <p>(6) 猛暑の中、外仕事を行う市の職員への対応と民間事業者への注意喚起はどのように行われているか。</p> <p>(7) 体育の授業や外での課外授業及び部活動の対応について。</p>		市長 副市長 教育長 関係部長
2 除草の効率化と市の 職員の負担軽減について		<p>これまでも数多くの議員が一般質問や予算及び決算審査特別委員会などで質問をしてきたが、繁茂する草の勢いはとどまるところを知らない。この猛暑にも負けずに成長を続ける草には敬意すら覚える。しかしながら、道路脇、畑、空き地及び空き家などから生えてくる草の苦情は常に寄せられており、市の職員の対応にはいつも感謝をしている。そのような中、除草作業の効率化や負担軽減を考えると、最新鋭の効率が良い除草作業車の購入や国や県などと一緒に使えるようなシェアリングできる除草作業車の購入の検討などを考える必要があると思うが、以下伺う。</p> <p>(1) 年々増えている除草に対する相談への対応は民間業者への委託が主になっていると思うが、回数の制限や相談内容によっては頼めないこともある。職員の出勤回数は年々増えているのか。</p> <p>(2) 管理しきれない繁茂する草を、しずおかアダプトロード・プログラム以外で地域に予算を用意し、除草作業を頼む契約も考えるべきだが、一考できないか。</p> <p>(3) 管理している形跡がない空き地や空き家などの除草について。</p> <p>(4) 道などに張り出した草や木の枝を切る高効率な作業車をネクスコなどで見かけるが、市では購入することを検討できないか。また、高温スチームで除草を行える機械も出てきているが、先進的な除草機械の購入について考えられないか。</p>		市長 副市長 関係部長

発言 順序	議席 番号	氏名	佐野和彦 議員	2 / 2
発言項目		要 旨		答弁者
3	富士根北部をはじめ各地に点在するナラ枯れ等による枯れた立木の処分を考える	<p>(5) 国や県などとシェアリングできる作業車の提案はできないか。</p> <p>台風や暴風雨のたびに市民からの通報や相談があり、ナラ枯れなどにより枯れた木の倒木や道路に落下した枝などの撤去の相談が多くなっているように思う。民地の立木は基本的に所有者が管理しなければならないが、中には所有者や管理者が分からない土地や近くに住んでいないケースもある。所有者や管理者に対する指導はどのように行われているか。また、倒木や枝の落下など、危険な状態の木の処分について以下伺う。</p> <p>(1) 危険な状態で枯れた立木がある場合、処分はどのように考えていくのか伺う。</p> <p>(2) 枯れた木の所有者や土地の管理者が不明または連絡が取れない場合の対処方法はどのように考えているか。</p> <p>(3) 大変危険な状態で枯れた立木などについて、場合によっては予防伐採も考えていくべきと思うがいかがか。</p>		市長 副市長 関係部長